



# お父さん、お母さんのための One Point 講座

No.4



## 『分別の教育・・・ほめること、叱ること』

▼光の子園（家庭連合祝福二世・三世のための保育園）の教育より▼

### ほめる

成長したことをほめる。

神様の三大祝福の第一番目は、『生めよ』ですが、『生めよ』とは成長しなさいという内容です。成長することは喜びです。

- その人の中に良い所を見出そうとする情熱を持って、積極的にほめる。
- 「さすが！」とほめる。
- 焦らず、あてにせず、あきらめずほめる。

### 叱る

① 善悪を分別することが叱ることです。

サタンを分別することが、根本における叱ることになります。ですから、何が叱られているのか納得がいくまで説得をして理解させなければなりません。そうでなければ悪との決別はできません。ですから叱る時は命懸けで叱らなければなりません。怒る、怒鳴るなどの感情的なものとは違います。叱る時は小言のようにしてはならないことは、言うまでもありません。

② 訓練としての叱る

訓練をしている時には、心を鍛えるために叱ることがあります。

③ 叱り方の禁句（言ってはいけない言葉）

(ア) 教育を否定する叱り方

「あんたなんて、うちの子じゃない」

(裏面に続く)

(イ) 人格を否定する叱り方

「なんてデキの悪い子なの」

「イジイジしていてなんて性格が悪い子か」

「そんな子は神の子ではない」「アボジの子ではない」

「そんなことをするのはサタンの子だ」

(ウ) 愛情を否定する叱り方

「憎らしい子」「イヤな子」

※ 子女はとても敏感に言葉に反応します。美しい言葉を使いましょう。善悪をどのように教えるか、親は祈らなければなりません。叱ることは大切ですが、感情的になった時、ひと呼吸、祈って適切な態度や言葉を探しましょう。子女本人が善悪が理解できない時は、祭壇にろうそくを立てて、共に祈らせてみてもよいでしょう。本人が祈れない時は、母親が『・・・は良いことではないのでやめます。』と祈ってあげます。小さなことからサタンが入ってくるので、分別し除去することが必要です。



☆ なるべく「ダメ」と言わない工夫を試みる。

- 「ダメ」と言わなくてもよい環境を整える。
- 「ダメ」と言うのではなく、どのようにしてほしいのか伝える。
  - 「走っちゃダメ」→「歩こうね」
  - 「触っちゃダメ」→「見るだけよ」
- 代案を出す。

☆ 子供が、自分の気持ちをわかってもらえたと感じると、スムーズに行くこともある。

- 子供の気持ちを言葉で表現してあげる。
  - 「～だから～な気持ちなのね」
  - 「雨が降ってお外に出られないので、ガッカリしているのね」
  - 「〇〇ちゃんがあなたの積み木を壊したから怒っているのね」

☆ 大人も自分の感情を伝える

「どうしてあなたはいつも～なの」ではなく、「掃除したばかりなのに部屋を汚されるとガッカリだわ」「そんな言葉を言われると、お母さん悲しいわ」

(世界平和統一家庭連合 岡山家庭教会 子女教育担当資料)